

交通基本法案検討小委員会委員へのお伺い

交通基本法案検討小委員会におきましては、「交通基本法の制定に向けた基本的な論点」として別紙の事項についてご議論をいただきたいと考えております。

このうち、第1回会合におきましては、特に「新たな時代に対応して、どのような交通政策が求められているか」についてご議論をいただく予定でございまして、以下の点につきまして欠席される委員の皆様のご意見をあらかじめお伺いさせていただきたいと思っております。

- ① 人口減少、少子高齢化、地球温暖化問題への対応等様々な課題が指摘されていますが、我が国は、今後どのような社会的、経済的活動が行われる社会を目指すべきとお考えでしょうか。その中で、交通基本法により実現すべき交通の役割について、どのようにお考えでしょうか。

- ・ 低炭素化への対応
- ・ 人口減少、高齢化に伴うモビリティの確保
- ・ 都市計画、土地利用と交通との連携、整合

- ② これまでの交通行政は、上記の様々な課題に対して的確に対応してきたとお考えでしょうか。又は、どのような分野において問題があったとお考えでしょうか。問題があるとお考えの場合には、その原因・背景についてどのようにお考えでしょうか。

- ・ 行政、事業者間での縦割りによるサービスの不連続性、利用者目線の欠如

- ③ 今後の交通政策を展開していく上で、どのような視点、理念に立つべきとお考えでしょうか。

- ・ 従来の枠組みにとらわれず、新たな技術開発（例：EV等）や交通サービスの導入による交通の改善に積極的に取り組むべき
- ・ 交通計画は、目指すべき国土や土地利用を実現する手段の1つであり、国土形成計画や都市計画と整合して策定すべき。地方の計画を策定する場合は行政界にとらわれることなく、生活圈や経済圏を踏まえた広域的視点も必要。

○ 其他のご意見などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

(1) 小委員会のスケジュールについて

次期通常国会に法案提出を目指すスケジュールから考えると、小委員会での議論のスタートが遅いのではないかと懸念。小委員会での議論が法案作成に反映されるのか疑問。

(2) 「移動権」について

交通弱者の移動の確保は重要であり、移動に対する公平性を旨することは重要。ただし、権利として位置づけるかどうか、移動権の対象・範囲については、社会的コスト等を勘案して慎重な議論が必要。フランスのLOTI法のように漸進的改善が望ましいのではないかと懸念。

(3) 交通基本法の制定と関連施策の充実に向けた基本的な考え方について（案）（平成22年6月）について

低炭素化、交通弱者への配慮、まちづくりと交通の連携など、交通の基本理念を定める交通基本法の策定を目指すことには賛同するが、全体の記述内容が地域公共交通の支援措置の充実に重点が置かれており、交通全体についての基本的な理念や今後の方向性についての記述が希薄。